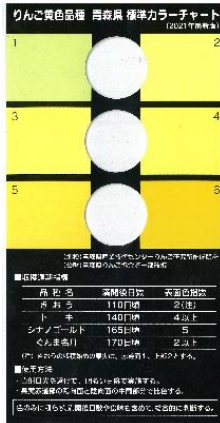


黄色りんご「ぐんま名月」の良品生産に向けて

「ぐんま名月」は良食味な黄色品種として人気が高く、近年は県内での栽培も増加しているため、良品生産のための栽培技術が求められていました。そこで今回、カラーチャートを活用した適期収穫方法の開発と褐変症状の原因の特定を行ったので紹介します。



「りんご黄色品種青森県標準カラーチャート」を取り入れた収穫方法



りんご黄色品種
青森県標準
カラーチャート

- ◆ 収穫時期（満開後約170日、平年は10月30日）が近づいたら「りんご黄色品種青森県標準カラーチャート」で、園地内の平均的な樹の果実の表面色指数を調べます。



図 カラーチャート比色部分

- ◆ 表面色指数は直射日光の当たらない明るい日陰で調べます。
- ◆ カラーチャートと、りんごの陰向面の肩部または尻部（図の○の部位）のうち、黄色が濃い方と比色します。比色部分に最も近い色が表面色指数です。
- ◆ 表面色指数が2以上の果実が全体の約7割に達すると収穫の目安です。

- ◆ ただし、表面色指数と熟度の進みが一致しないこともあるので、収穫指標（表1）を参考に食味やみつ入りも確認してから収穫しましょう。

表1 「ぐんま名月」の収穫指標

食味	糖度	ヨード反応	みつ入り	硬度
3.5以上	14%以上	2以下	2以上	12~16ポツ*

- ◆ なお、「りんご黄色品種青森県標準カラーチャート」は（公財）青森県りんご協会にて1部350円で販売しています。

詳細は令和4年度指導参考資料

「りんご『ぐんま名月』における『りんご黄色品種青森県標準カラーチャート』を取り入れた収穫方法」

(<https://www.aomori-itc.or.jp/docs/2019050800018/files/R4-1.pdf>)をご参照ください

ホウ素過剰による果心褐変とこうあ部果肉褐変

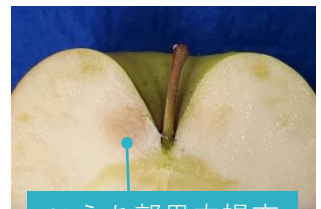
- ◆ 「ぐんま名月」は、ホウ素過剰により果心褐変とこうあ部果肉褐変が生じやすいということが分かりました。



これらの症状は以前からたびたび相談があったものの、原因は不明でした。



果心褐変



こうあ部果肉褐変

- ◆ 「ぐんま名月」はホウ素に非常に敏感な品種で、他の品種では問題のない量でも、過剰に反応して、果心褐変やこうあ部果肉褐変が発生しやすい傾向があります。そのため栽培管理においては、ホウ素が含有された肥料や資材は使用しないようにしましょう。

詳細は令和4年度指導参考資料「新たに確認したりんごのホウ素過剰症とそれに対する「ぐんま名月」の特性」

(<https://www.aomori-itc.or.jp/docs/2019050800018/files/R4-3.pdf>)をご参照ください